

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
1		硫酸銅（硫酸第二銅）	結晶	濃い藍 （青）			○					150°Cで結晶水を失い白色粉末となる。風解性あり				白金につけて溶融炎で熱し、次に希塩酸で白金線をしめして再び溶融炎で炎の色を見ると青緑色となる。／硝酸バリウムも加えると白色沈殿
2		重クロム酸カリウム	柱状結晶	橙赤色								アルコールにはとけない強力な酸化剤		皮膚や粘膜の刺激性が大きい	還元した後、沈殿ろ過し、最終的に埋立処分する	
3		重クロム酸ナトリウム	結晶	橙色		○									還元した後、沈殿ろ過し、最終的に埋立処分する	
4		重クロム酸アンモニウム	結晶	橙赤色											還元した後、沈殿ろ過し、最終的に埋立処分する	
5		無水クロム酸（三酸化クロム）	針状結晶	暗赤色		○						水に易溶 極めて強い酸化剤			還元した後、沈殿ろ過し、最終的に埋立処分する（ケイ弗化系も沈殿ろ過して埋立処分）	
6		燐化亜鉛 Zn3P2	粉末	暗赤色								希酸にはホスフィン（燐化水素）を出して溶解する		嚥下吸入したときに、塩酸や水と反応してホスフィンを生ずることにより中毒する	可燃性溶剤（重油等の燃料の場合あり）と共に、スクラバー／アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	
7	☆	クロム酸ナトリウム	結晶	黄色								潮解性あり				
8	☆	ジニトロフェノール	結晶または結晶性粉末	黄色								フェノール様臭				
9	☆	硫化カドミウム	粉末	黄橙色												
10	☆	五酸化バナジウム	結晶	赤から赤褐色											多量の場合は、炭酸ナトリウムを加え焙焼し、水またはアルカリ水溶液で抽出した後化合物として回収する／還元→沈殿ろ過→埋立処分	
11	☆	一酸化鉛	重い粉末	黄色から赤色											多量の場合は還元焙焼法により、金属として回収する。（カドミウム化合物、クロム酸化合物など）	硫化水素を通じると黒色の沈殿（硫化鉛）を生ずる
12	☆	酸化第二水銀	粉末	赤色または黄色								除外濃度5%以下				
13	☆☆	沃素（I ₂ ）	結晶	黒灰色							○	金属様の光沢がある。常温で不快な臭気をもつ蒸気を放つ（昇華）	腐食されやすい金属、濃塩酸、アンモニア水、アンモニアガス、テレピン油などと引き離してたくわえる	皮膚にふれると褐色に染め、蒸気を吸うとめまいや頭痛を伴う一種の酩酊をおこす		澱粉にあうと藍色を呈し、これを熱すると退色し、冷えると再び藍色を現し、さらにチオ硫酸ソーダの溶液にあうと脱色する
14	☆☆	砒素（As）	結晶など	灰色、黄色、黒、褐色								種々の形で存在するが結晶のものが最も安定。			コレラに似た症状が起こる	そのまま再生利用するため蒸留する
15	☆☆	セレン（Se）	ペレットまたは粉末	灰色の金属光沢／黒											息のニンニク臭、指・歯・毛髪等を赤くする。	多量の場合には加熱し、蒸発させて補集回収する（砒素、セレンは埋立処分もあり）

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
16	☆☆☆	臭素 (Br ₂) ※ハロゲン	重い液体	赤褐色							○	刺激性臭気、引火性や燃焼性はないが、強い腐食作用を有する	陶製壺などを使用し、冷所に濃塩酸、アンモニア水、アンモニアガスなどと引き離してたくわえる	揮発性が強く、呼吸器や粘膜に作用する	多量の水で希釈し、還元剤(チオ硫酸ナトリウム水溶液など)の溶液を加えたあとと中和する。アルカリ法ではアルカリ水溶液中に少量ずつ滴下し、多量の水で希釈して処理	澱粉糊液を橙黄色に染め、ヨードカリ澱粉紙を藍変し、フルオレッセン溶液を赤変する。/外観と臭気によって容易に鑑別することができる
17	☆☆☆	塩素 (Cl ₂) ※ハロゲン	気体	黄緑色								冷却すると黄色溶液を経て黄白色固体となる				
18	☆☆	硝酸銀	結晶									光により黒変する。強力な酸化剤		還元焙焼法により、金属として回収する/沈殿る過法もあり		水に溶かして塩酸を加えると白色の沈殿を生ずる。その駅に硫酸と銅屑を加えて熱すると赤褐色の蒸気が発生する。
19	☆☆☆	フェノール	針状結晶	無色								空气中で容易に赤変する 特異の臭気と灼くような味	空気や光線に触れると赤変するため遮光する	皮膚や粘膜につくと火傷をおこし、その部分は白色となる。	木粉(おが)などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却	過クロール鉄液に加えると紫色を呈する。/1/4のアンモニア水を数滴の晒粉溶液を加えて温めると藍色を呈する。
20	☆☆☆	ペタナフトール	小葉状結晶									無色の光沢ある結晶あるいは白色の結晶性粉末 石炭酸に類する臭気。空気中では徐々に赤褐色に着色する	空気や光線に触れると赤変するため遮光する			水溶液にアンモニア水を加えると紫色の蛍石彩をはなつ
21	☆☆☆	アニリン	液体	無色透明								空気に触れると赤褐色を呈する		血液毒であり、かつ神経毒。血液に作用して目とヘモグロビンを作りチアノーゼをおこさせる	木粉(おが)などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却	水溶液に晒し粉を加えると紫色を呈する。
22	☆☆☆	トルイジン										オルト、メタは無色の液体で空気と光にふれて赤褐色を呈する			木粉(おが)などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却	
23	☆	ニコチン	針状結晶									刺激性の味、空気中で褐変、タバコ臭あり		猛烈な神経毒である。急性中毒ではよだれ、吐き気などが起こる。		ヨードのエーテル溶液を加えると褐色の液状沈殿を生じ、放置すると赤色の針状結晶となる。/ピクリン酸を加えると黄色の沈殿を生ずる/ホルマリン一滴を加えた後、濃硝酸一滴を加えるとバラ色を呈する。
24	☆☆	四エチル鉛	液体									日光によって徐々に分解白濁する。引火性、腐食性あり	特別製のドラム缶を用い、独立倉庫で火気のないところに保管する			
25	☆	無水硫酸銅	粉末	白								空気中の水分で青色を呈する				水を加えると青くなる
26	☆☆☆	クロロホルム (CHCl ₃)	液体	無色								特異の香気とかすかな甘味を有する。空気に触れ、同時に日光の作用をうけると分解して塩素、塩化水素、ホスゲン、四塩化炭素を生ずる、少量のアルコールを含有させると分解を防ぐことができる	冷暗所にたくわえる。少量のアルコールを加えて分解を防止。	原形質毒である。脳の節細胞を麻痺させる	可燃性溶剤(重油等の燃料の場合あり)と共に、スクラバー/アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	レゾルシンと33%水酸化カリウム溶液と熱すると黄赤色を呈し、緑色の蛍石彩をはなつ。/水酸化カリウムと少量のアニリンを加えて熱すると不快な臭気をはなつ

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
27	☆☆☆	アジ化ナトリウム	結晶	無色								急に加熱すると爆発する危険がある				
28	☆☆	過酸化水素	液体	無色透明								常温でも徐々に酸素と水に分解する。安定剤として種々の酸類または塩酸を添加して貯蔵				
29	☆	クロルスルホン酸	液体	無色または単黄色								水と激しく反応し、硫酸と塩酸を生成	皮膚を激しくおかす			
30	☆☆	ホスゲン	気体	無色								青草臭あり。窒息性あり。水により徐々に分解され、炭酸ガスと塩化水素が生じるのでこの塩化水素により金属が腐食される	ガスを吹き込み分解した後、希硫酸を加えて中和			
31	☆	ジボラン	気体						○			ビタミン臭あり。37～52℃で自然発火する。水により速やかに分解して硼酸と水素を発生する			スクラバー／アフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する	
32	☆	ブロムエチル（臭化エチル）	液体									エーテル様の香気と灼ような味。苛性カリによってアルコールとブロムカリに分解する				
33	☆	沃化水素酸	液体									空気と日光の作用をうけてヨードを遊離、強い還元性を呈する			石灰乳などの攪拌溶液に加え中和（中和するのは酸）その他、ソーダ灰／消石灰／水酸化ナトリウムで中和	
34	☆	五塩化磷										不燃性で潮解性あり。水により加水分解し、塩酸と磷酸を生成する				
35	☆	三塩化磷										不燃性、水により加水分解し塩酸と亜磷酸を生成する				
36	☆	五硫化磷										硫化水素臭あり。290℃で発火。水、酸で分解して硫化水素と磷酸になる。	火災、爆発の危険性があるため、換気の良い冷暗所に貯蔵する			
37	☆	水素化砒素（アルシン）（AsH3）	気体									ニンニク臭を有する、点火すれば無水亜砒酸の白色煙を放って燃える	ボンベに貯蔵する			
38	☆	スルホナール										添加すると亜硫酸ガスを発生して燃焼する。スルホは硫黄を含んでいることを意味する	ポルフィリン尿として現れる			木炭とともに加熱するとメルカプタンの臭気をはなつ
39	☆	アセトニトリル（CH3CN）										エーテル様の臭気。加水分解するとアセトアミドを経て、酢酸とアンモニアになる				
40	☆	塩化ホスホリル										水により加水分解し、塩酸と磷酸を生成する				
41	☆☆☆	黄磷	固体	白または淡黄色					○			ろう様半透明の結晶性固体。ニンニク臭あり。50℃で発火する	水中に沈めてビンに入れる（空气中では自然発火するため）	ニンニク集のおくび、吐しゃ物もニンニク集を有し、暗いところでは燐光を発する	廃ガス水洗設備及びアフターバーナーを具備した焼却施設で焼却	

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法	
42	☆☆☆	パラチオン	液体									ニンニク臭あり。アルカリの存在下で加水分解する。遅効性の殺虫剤として使用される		血液中の アセチルコリンエステラーゼを阻害する。縮瞳 あり。			
43	☆☆☆	セレン化合物	気体									ニンニク臭あり。水に溶けにくい					
44	☆☆	燐化水素（ホスフィン）	気体									毒物。アセチレンに似たまた腐った魚の臭いあり ホスフィンはPhosphorusでリンのこと			スクラパー／アフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する		
45	☆☆	メチルメルカプタン（メタンチオール）	気体									腐ったキャベツ様の悪臭あり、引火しやすい			水酸化ナトリウム水溶液中に徐々に吹き込んだ後、酸化剤の水溶液を加えて酸化分解する		
46	☆☆☆	酢酸エチル	液体					○				強い果実様の香気。引火しやすい		持続的に吸入するときは、肺・腎臓及び心臓の障害をきたす	焼却炉の火室へ噴霧し焼却／珪藻土に吸収させ、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却		
47	☆☆	ニトロベンゼン	液体	無色								強い苦扁桃様の香気。光線を屈折する		皮膚、呼吸器、消火器などから九州され、中毒症状は頭痛やめまいをおこす。	木粉（おが）などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却		
48	☆☆	ピクリン酸	針状結晶	淡黄色						○		ニトロベンゾールの臭気 。急熱あるいは衝撃により爆発する	硫黄、ヨード、ガソリン、アルコール類と離して保管する	吸入すると嘔吐や下痢などをおこし、諸機関は 黄色 に染まる	大過剰の可燃性溶剤 と共にアフターバーナー／スクラパーを具備した焼却炉へ噴霧し焼却	アルコール溶液は白色の羊毛または絹糸を鮮黄色に染める／水溶液に晒粉溶液を加えて煮沸すると クロルピクリン の刺激臭を発する	
49	☆☆	シアン化水素	液体	無色								青酸臭をおびている	銅製シンダー を用いる。極めて猛毒のため、爆発性、燃焼性のものと隔離すべき	極めて猛毒 、呼吸中枢を刺激し麻痺させる	多量の水酸化ナトリウム水溶液に吹き込んだ後 、酸化剤の水溶液を加えて酸化分解／加水分解する		
50	☆☆	シアン化カリウム	塊または粉末			○						空気中では湿気を吸収し、かつ炭酸ガスと作用して青酸臭を放つ。シアン化水素を発する	少量ならガラスビン、多量ならばブリキ缶や鉄ドラム。酸類とは話して密封してたくわえる		水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性とし、酸化剤の水溶液を加えて酸化分解する。アルカリ法では高温加圧かで加水分解する		
51	☆	クレゾール	結晶／液体									オルト、メタ、パラの三異性体 があり、 フェノール 様の臭いあり			木粉（おが）などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却		
52	☆☆	モノフルオール酢酸ナトリウム	粉末	白色								酢酸の臭い		哺乳動物並びに人間にはなほだしい毒作用を呈する。 TCA サイクル（アコニターゼ）を阻害する。			
53	☆☆	アクリル酸	液体	無色								酢酸に似た刺激臭			木粉（おが）などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却		
54	☆	ジメチルアミン															
55	☆	メチルアミン															
56	☆	ヒドラジン							○			アンモニアに似た臭い 、52°Cで発火し、 強い還元剤					

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
57	☆☆	クロロピクリン			○							催涙性あり、強い粘膜刺激臭を有する。引火性はなく、金属腐食性が強い		血液中に入って、 メトヘモグロピン を作り、中枢神経や肺に相当強い障害を与える	少量の界面活性剤を加えた亜硫酸ナトリウムと炭酸ナトリウムの混合溶液中で、攪拌し分解させた後、多量の水で希釈して処理する	ベタナフチルアミン および 硫酸 を加えると 赤色の沈殿 を生ずる／ プロムシアン 溶液を加えると 緑色ないし赤紫色 を呈する
58	☆	プロムアセトン			○							刺激臭		催涙作用が強い 。皮膚に触れると水疱を生じる		
59	☆	アクロレイン			○			○				刺激臭、極めて反応性に富む	火気厳禁。非常に反応性に富むため安定剤を加え空気を遮断	催涙性 あり。 気管支カタル や 結膜炎 を起こさせる	多量の酸性亜硫酸ナトリウム水溶液に混合した後、 次亜塩素酸塩水溶液 で分解し多量の水で希釈して流す	
60	☆☆	アクリルニトリル	液体	無色	○			○				引火点は-1°C。	硫酸や硝酸などの酸類と激しく反応するのでできるだけ空気に触れることを避け、窒素のような不活性ガスの雰囲気の中に貯蔵するのがよい	粘膜刺激作用が強く、流涙その他の粘膜より分泌を促進させる	焼却炉の火室へ噴霧し焼却／珪土に吸収させ、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却 アルカリ法もあり（加水分解）	
61	☆☆	ホルマリン	液体	無色	○							催涙性があり、刺激臭あり。混濁することがある。蟻酸を生じる。	低温ではパラホルムアルデヒドとなって析出するので 常温で保存 する	蒸気は粘膜を刺激し、 鼻カタル などを起こさせる	多量の水を加え希薄な水溶液とした後、 次亜塩素酸塩水溶液 を加え分解させ、廃棄	フェーリング 溶液とともに 熱 すると 赤色の沈殿 を生ずる／ 硝酸 を加え、さらに フクシン亜硫酸 溶液を加えると 藍紫色 を呈する。／徐々に 金属銀 を析出する
62	☆☆☆	水酸化ナトリウム	結晶性の塊	白色		○						水と炭酸ガスを吸収する性質が強く、潮解性あり	二酸化炭素と水を吸収する性質が強いので密栓してたくわえる	腐食性が極めて強いので、皮膚にふれるとはげしくおかし、濃厚溶液を飲めば、腐食して死に至らしめる	酸で中和させた後、多量の水で希釈して処理	水溶液を白金線につけて無職の火炎中にいれると、 火炎は著しく黄色 に染まり、長時間続く
63	☆☆	水酸化カリウム				○						水と二酸化炭素を吸収して潮解する	二酸化炭素と水を吸収する性質が強いので密栓してたくわえる		酸で中和させた後、多量の水で希釈して処理	水溶液に 酒石酸 溶液を過剰に加えると 白色結晶性 の沈殿を生ずる。
64	☆☆☆	シアン化ナトリウム				○						空気中の炭酸ガスと作用して有毒な青酸臭を放つ。酸と反応すると有毒かつ引火性のシアン化水素を発生する			水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性とし、酸化剤の水溶液を加えて酸化分解する。アルカリ法では高温加圧かで加水分解する	
65	☆☆	トリクロル酢酸				○									可燃性溶剤（重油等の燃料の場合あり）と共に、スクラパー／アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	水酸化ナトリウム溶液／アンチピリン及び水を加えて熱すれば、 クロロホルム の臭気をはなつ
66	☆	モノクロル酢酸				○									可燃性溶剤（重油等の燃料の場合あり）と共に、スクラパー／アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	
67	☆	酢酸タリウム				○										
68	☆	塩素酸ナトリウム				○				○		空気中の水分でベトベトに潮解する。酸化剤、加熱、摩擦または衝撃により爆発する				
69	☆	塩化亜鉛				○										硝酸銀溶液を加えると白い沈殿を生ずる

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
70	☆☆☆	礮酸（しゅうさん）		無色			○					2モルの結晶水を有する。風化（風解性あり）する。		血液中の石灰分を奪取し、腎臓がおかされる	焼却炉で焼却する（ジメチル硫酸も）	酢酸カルシウム／塩化カルシウムを加えると結晶性の白色沈殿。
71	☆	硫酸亜鉛					○					風解性あり				塩化バリウムを加えると白色の沈殿／硫化水素を通じると白色の沈殿
72	☆☆	二硫化炭素						○				非常に揮発しやすい	揮発性が高いことと、低温でも極めて引火性があるため、いったん開封したのものには蒸留水をまぜておく	神経毒で脳および神経細胞に脂肪変性をきたし、筋肉を委縮させ、溶血作用を呈する	スクラパー／アフターパーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する	
73	☆	メチルエチルケトン						○						吸入すると粘膜を刺激する。高濃度で麻酔状態となる	焼却炉の火室へ噴霧し焼却／珪藻土に吸収させ、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却	
74	☆☆	トルエン						○				ベンゼン臭。引火しやすい		頭痛、食欲不振等がみられ、大赤血球性貧血をきたす	焼却炉の火室へ噴霧し焼却／珪藻土に吸収させ、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却	
75	☆☆	メタノール	液体	無色透明				○				動揺しやすい。エチルアルコールに似た特異な香気。容易に燃える		視神経がおかされ、失明することがある		サリチル酸と濃硫酸とともに熱すると芳香あるサリチル酸メチルエステルを生ずる／あらかじめ熱した酸化銅を加えるとホルムアルデヒドができる
76	☆☆☆	ナトリウム							○			ロウのような硬度の軟らかい金属。水と激しく反応、発火する	石油中にたくわえる。雨水などの漏れがないような場所に保存		酸素濃度3%以下にしたグローブボックス内で乾燥した鉄製容器を用い、エタノールを加えて徐々に溶かす。（溶解中和法）その他、鉄棒で時々攪拌して中和	白金線につけて溶融炎で熱し、炎の色を見ると黄色になる。それをコバルトの色ガラスを通して見れば吸収されて、この炎は見えなくなる。
77	☆	カリウム							○			ロウのような硬度の軟らかい金属。水と激しく反応、発火する			酸素濃度3%以下にしたグローブボックス内で乾燥した鉄製容器を用い、エタノールを加えて徐々に溶かす。（溶解中和法）その他、鉄棒で時々攪拌して中和	白金線につけて溶融炎で熱し、炎の色を見ると青紫色になる。その炎はコバルトの色ガラスを通して見ると紅紫色となる
78	☆	過酸化ナトリウム		純品は白、市販は淡黄色					○			液性は強アルカリ性を示す。不燃性ではあるが、有機物や硫黄に触れ、水分を吸うと自然発火する。炭素にふれると容易に発火する。			酸で中和させた後、多量の水で希釈して処理	
79	☆	三硫化磷							○			マッチ製造に使われる	少量ならば共栓ガラスビン、多量ならブリキ缶を使用し、木箱入れとする			火炎に接すると用意に引火し、沸騰水により徐々に分解して、硫化水素を発生し、磷酸を生ずる
80	☆☆	塩素酸カリウム								○		強い酸化剤。加熱、摩擦または衝撃により爆発する		血液はドロドロになり、どす黒くなり、腎臓をおかされる	還元剤（たとえばチオ硫酸ナトリウム）の水溶液に希硫酸を加え酸性にし、この中に少量ずつ投入する	水溶液に酒石酸溶液を過剰に加えると白色結晶性の沈殿を生ずる。／熱すると酸素を出して塩化物にかわる／熱灼するとパチパチ音を立てて分解する

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
81	☆	亜塩素酸ナトリウム	粉末	白色						○		強力な酸化剤 爆発的に分解する。			還元剤（たとえばチオ硫酸ナトリウム）の水溶液に希硫酸を加え酸性にし、この中に少量ずつ投入する	
82	☆☆	液化塩素									○	激しい刺激臭あり				
83	☆☆☆	弗化水素酸									○	特有の刺激臭、不燃性、 ガラスなどを腐食 する	ライニング を施した容器を用いる	皮膚に触れると激しい痛みを感じて著しく腐食される。爪の剥離なども起こる		口ウをかぶらない模様の部分は腐食される
84	☆	液化塩化水素									○	激しい刺激臭、強い腐食性				
85	☆☆	四塩化炭素									○	麻酔性芳香を有し、不燃性。強い消化力を示す	錫メッキした鉄鋼製容器で保管する。本品の蒸気は空気より重く、低所に滞留するので地下室などには保管しない	黄疸のように角膜が黄色 となり、次第に尿毒症様を呈しはなはだしいときは死ぬこともある	可燃性溶剤（重油等の燃料の場合あり）と共に、スクラパー／アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	アルコール性の水酸化カリウムと銅粉とともに煮沸すると、黄赤色の沈殿を生ずる
86	☆☆	水銀	液体金属	銀白色								常温で唯一の液状金属。比重は13.6。多くの金属とアマルガムをつくる			そのまま再生利用するため蒸留する	
87	☆☆☆	カリウムナトリウム合金	液体	銀白色								水と激しく反応するアルカリ金属				
88	☆	蟻酸	液体	無色								還元性が強い				
89	☆	ヒドロキシルアミン	吸湿性結晶	無色								強力な還元作用を呈する				
90	☆☆	過酸化水素水										常温でも徐々に酸素と水に分解する。安定剤として種々の酸類または塩酸を添加して貯蔵する。強い酸化力と還元力を併用している	三分の一の空間を保って貯蔵する。安定剤として少量の酸類の添加は許容されている。		多量の水で希釈して処理	過マンガン酸カリウムを還元し、過クロム酸を酸化する／ヨード亜鉛からヨードを析出する。
91	☆☆	硝酸	液体									金、白金その他白金損の金属を除く諸金属を溶解する	皮膚に触れるとガスが発生して、組織ははじめ白く、次第に深黄色となる。	石灰乳などの攪拌溶液に加え中和（中和するのは酸）その他、ソーダ灰／消石灰／水酸化ナトリウムで中和	銅屑を加えて熱すると藍色を呈して溶け、その際に赤褐色の蒸気 が発生する。／羽毛のような有機質をひたし、特にアンモニア水でこれをうるおすと黄色を呈する。	
92	☆☆☆	硫酸	液体									猛烈に水を吸収し、水と接触して激しく発熱する	人体にふれると激しい火傷をおこさせる。	石灰乳などの攪拌溶液に加え中和（中和するのは酸）その他、ソーダ灰／消石灰／水酸化ナトリウムで中和	塩化バリウムを加えると白色の沈殿／ 比重が極めて大 で、水で薄めると激しく発熱し、 蔗糖、木片などに触れるとそれらを炭化して黒変させる	
93	☆☆	プロムメチル	気体									圧縮冷却すると液化しやすい	圧縮冷却して液化する	普通の燻蒸濃度では臭気を感じない 。頭痛や眼や鼻孔の刺激、呼吸困難をきたす。		
94	☆	キシレン	重質な液体											揮発しやすく、粘膜刺激性がある	焼却炉の火室へ噴霧し焼却／珪藻土に吸収させ、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却	
95	☆	ニッケルカルボニル	液体							○	○	発火性あり、急に熱すると爆発する		吸入毒性が強く、急性作用は廃刺激と中枢神経系の障害である。	多量のベンゼン に溶解し、スクラパーを具備した焼却炉へ噴霧し焼却／その他、 沈殿ろ過し埋立処分 する	

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法
96	☆	エチレンオキシド	気体									エーテル臭、可燃性のガス				
97	☆☆☆	ホストキシシ											大気中の湿気にふれると有毒ガスを発生するので密栓容器にたくわえる			5～10%硝酸銀溶液を吸着させた紙に本剤から発生したガスが触れると黒変する
98	☆☆☆	ロテノン											酸素により分解し、殺虫効果を失うため、空気を遮断してたくわえる			
99	☆	亜砒酸											少量ならばガラスビン、大量なら木樽に入れる			
100	☆	亜砒酸ナトリウム											よく密栓してたくわえる			
101		過酸化尿素													多量の水で希釈して処理	
102		アンモニア水												(アンモニア) 吸入によってすべての露出粘膜の刺激症状を発生し、高濃度では口唇、粘膜の腫瘍、一時的に失明をきたす。(アンモニア水) アルカリ性で強い局所刺激作用あり	酸で中和させた後、多量の水で希釈して処理	塩化白金溶液を加えると黄色、結晶性の沈殿を生ずる／濃塩酸をうるおしたガラス棒を近づけると白い霧を生ずる。
103		塩化メチル (クロルメチル)													スクラバー／アフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する	
104		クロルエチル (塩化エチル)													スクラバー／アフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する	
105		メタクリル酸													木粉(おが)などに吸収させ焼却または可燃性溶剤に溶かし噴霧して焼却	
106		ジクロル酢酸													可燃性溶剤(重油等の燃料の場合あり)と共に、スクラバー／アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	
107		EPN、DDVP(ジクロルボス)、ダイアジノン													可燃性溶剤(重油等の燃料の場合あり)と共に、スクラバー／アフターバーナーを具備した焼却炉へ噴霧	
108		塩素												吸入により窒息間、喉頭および気管支筋の硬直をきたし、呼吸困難に	多量のアルカリ水溶液中に吹き込んだ後多量の水で希釈して処理	
109		水銀化合物													還元焙焼法により、金属として回収する／セメントを用いて固化し、埋立処分	
110		四アルキル鉛													アフターバーナー／スクラバーのある火室に噴霧し焼却、さらに焼却炉と共にセメントを用いて固化する。埋め立て処分する(カドミウムも埋め立て処分)	
111		アクリルアミド												神経毒		

No.	重要度	名称	状態	色	催涙性	潮解性	風解性	引火性	発火性	爆発性	不燃性	性状	貯蔵方法	毒性	廃棄方法	鑑識法	
112		塩酸															硫酸または硫酸カルシウムの 溶液で白色の沈殿を生ずる